

総合型地域スポーツクラブの現状と課題

～高島市に着目して～

青木 良樹（生涯スポーツ学科 地域スポーツコース）

指導教員 新井 博

キーワード：総合型地域スポーツクラブ，高島市

1. はじめに

現在日本では、高齢化が社会問題となっている。高齢者が健康で元気に過ごすことで医療費の低減につながる。またゲームなどの発展によって子どもが外で遊ぶことや運動をしている姿をあまり見かけなくなった。そして、若者のスポーツ活動については運動実施率が低いのが現状である。総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）には、これらを解決することができる役割があると期待している。

文部科学省は、平成12年9月に策定されたスポーツ振興基本計画での政策目標の一つとして、「国民の誰もが、それぞれの体力や年齢技術、興味、目的に応じていつでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する」ことが掲げている。

そこで本研究では、高島市における総合型クラブの現状を分析し、今後の課題を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

- 1) 方法：質問紙によるアンケート調査
- 2) 対象者：高島市に在住する若者を中心とした37名
- 3) 調査時期：2014年11月22日～11月29日

3. 結果および考察

クラブに「加入している」人は全体では

13.5%で、ほとんどの人が加入していない結果となった。まだまだ総合型クラブでスポーツ活動をしている人は少ないといえる。しかし、加入への意欲については約6割の人が「加入したい」「誘われれば加入したい」と積極的である。

総合型クラブで実施してほしいスポーツ活動については、男性ではバレーやバスケットボールなど集団で行うスポーツ、女性ではヨガやエアロビクスダンスなど個人で行うことができるスポーツへのニーズが高い。

4. まとめ

高島市では若者で総合型クラブに加入している人はまだまだ少なく、総合型クラブの魅力を継続的に発信していくことが必要であることが分かった。若者が運動をあまりしない理由としては、仕事などが忙しく時間がないことが要因であるが、これを解決することは難しいのが現状である。これらの人にどのようにしてスポーツ活動をしてもらうのか、また総合型クラブに加入してもらうのがこれからの課題になってくる。

5. 参考文献

- 黒須充（2007） 総合型地域スポーツクラブの時代，創文企画。
- 日本体育・スポーツ経営学会編（2004）テキスト総合型地域スポーツクラブ，大修館書店。